

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	本部町ことばの教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 24日 ～ 2026年 5月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2026年 5月 1日 ～ 2026年 5月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園の形をとっている為、利用児が安心して活動でき、事業所に慣れるのも早い。支援の様子を保護者に見てもらえるため、情報共有もしやすい。	父母だけでなく、祖父母など、利用児と関わりが深い家族にも来所してもらっている。	保護者・家族も一緒に支援に関わってもらい、家庭と事業所で統一した支援が提供できるようにしていく。
2	放課後等デイサービスも行っている為、異年齢児との交流がもてる。	行事やイベントに誘い、放デイの利用児と一緒に活動できる機会を作る。慣れた職員が間に入ること、異年齢児との交流が円滑になるようにしている。	一緒に活動できる行事やイベントを計画し参加を促していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	強味でもあるが、親子通園であることで、働いている保護者は時間の調整が難しく、利用回数が少なくなってしまう。	共働きの家庭が多い為、保護者が付き添うことが難しくなっている。	保護者のお仕事に合わせて、利用時間や利用日を臨機応変に対応する。子どもが事業所に慣れてきたら、単独での利用も検討する。
2	STが常駐していない為、言語訓練を希望する方に対し、十分な支援ができていない。	人材不足。常勤としての採用が難しい。	講師依頼をして月1回STに来てもらっている。STが不在の日は、STからアドバイスをもらい、経験のある職員が訓練を行っている。
3			